



2/17

羽ばたくルーキー農業者激励会 新規就農者を応援



出席した新規就農者と市長

市内で新たに農業に従事する若者を激励する「羽ばたくルーキー農業者激励会」が開催されました。10代から40代の13人が参加し、就農のきっかけや目標などを発表しました。

令和4年に新規就農してネギを栽培している参加者は「先輩農家さんたちを見習って、ずっとアクティブで元気に農業をしていきたい」と意気込みを話していました。

3/3

第18回防火ポスター展 小・中学生がポスターで火災予防を呼びかける

火災予防の重要性や必要性を広く知ってもらうために行っている、市内小・中学生による防火ポスター展。

各学校から選出された182点の中から、旭市長賞(最優秀賞)に輝いた清野敦士さん(富浦小4年)、小澤七歌さん(嚶鳴小5年)、伊藤瑠美さん(干潟中1年)、浜城結菜さん(海上中2年)に賞状が贈られました。



左から清野さん、小澤さん、伊藤さん、浜城さん

2/9

地域を花と笑顔でいっぱい 中和小で「花いっぱい活動」



1年生と6年生が協力してプランターを作成

福祉の心を育て、地域の美化に貢献する活動として、全校児童が1人1つのプランターに協力して花を植えました。「いつも見守ってくれてありがとう」など、メッセージが添えられ、郵便局など学校近隣に寄贈されました。

2/10

旭市で育った色とりどりの花との触れ合いを楽しんで



どこに飾るか想像しながらアレンジメント

花を身近に感じてもらうことを目的に旭市花卉生産者協議会による、フラワーアレンジメント体験会が、鶴巻小の6年生を対象に実施されました。児童は「花のことがよく分かった。またやりたい」と楽しそうに話していました。



旭市公式LINE



旭市公式フェイスブック



旭市公式Instagram



旭市公式YouTubeチャンネル



3/5

えいたいおおみかぐら
水神社永代大御神楽

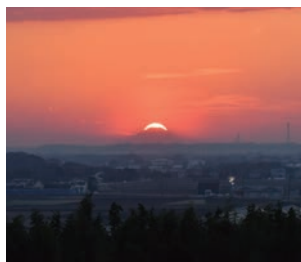
受け継がれる いにしへの情景

無病息災や五穀豊穡^{ほうじょう}などを願い、後草地区の水神社で千葉県指定無形民俗文化財になっている神楽が奉納されました。たくさんの方が見守る中、氏子衆や地域子どもたちが古式ゆかしい衣装に身を包み、伝統の舞を披露しました。「田の神」の演目時には、舞台から餅を投げる場面があり、客席は盛り上がりを見せていました。



- さるたりのめことてんぐ
①猿田彦命(天狗)
②舞姫たちによる「浦安の舞」
③無病息災になる餅投げ「田の神」

2/23

市役所展望階から望む
ダイヤモンド富士

市役所から見える富士山

冬晴れの夕暮れ、富士山に夕日が沈み光り輝く神秘的なショーが市役所から見られました。市役所の最上階にある展望フロアは市内を一望でき、午前8時30分～午後7時まで、どなたでも眺望を楽しむことができます。

2/26

春の火災予防運動
もしものときに備えて

火の元に向かって放水

あさひ市民センターで火災が発生したという想定で、総合消防訓練が実施されました。はしご車による人命救助や高所からの放水が行われるなど、消防本部や消防団などが一体となり警防技術や防火意識の向上を図りました。

3/5

旭市津波避難訓練
震災の教訓を生かして

市内小・中学校や避難タワーなど22施設を会場に、津波避難訓練が開催されました。飯岡小の会場に参加した人は「階段を上るのは大変だが、津波のときはそんなこと言っていられない」と話し、校舎屋上まで避難していました。



避難した住民

3/5

感染症に負けない
旭の文化のともしび

会場を包むみやびな琴の音色

世代を超えて受け継がれてきた芸能や技術などを未来に継承するため、東総文化会館で旭市文化協会芸能部主催のチャリティ合同発表会が開催されました。舞台では32団体89組の会員による熱演が披露されました。

3/11

東日本大震災から12年
地震発生時刻に黙とう

東日本大震災発生から12年を迎えるこの日、いいおかユートピアセンターにある慰霊碑の前に、献花台が設置されました。地震発生時刻にはサイレンが鳴り響き、参列された方は犠牲者の冥福を祈り黙とうをささげました。



慰霊碑に花を手向け冥福を祈る

議会に報告された寄付

※敬称略、順不同

図書購入費として

(故)山本博之/金100万円(遺贈)

災害発生時の被災者支援のため

(一社)関東地域づくり協会/防災倉庫及び防災備品一式(150万円相当)

二中の学校用備品として

たいよう体操クラブ/床フロアパネル用スプリング460個(25万円相当)

干潟中、萬歳小、中和小、古城小の学校用備品として

干潟ライオンズクラブ/鉄棒用下敷マット2枚ほか学校用備品一式(36万円相当)